

事業成果報告書

〔取組Ⅰ〕都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 北海道教育委員会
2. 取組の名称 : 北海道「小中一貫教育推進事業」

3. 事業の実績

(1) 事業のねらい

義務教育9年間終了時点での望ましい教育成果を強く意識した計画的・継続的な指導を行うモデル地域を指定し、取組の進捗状況の可視化や成果の効果的な普及を併せて行うことにより、本道全体での小中一貫教育の展開及び小中連携教育の高度化を図り、もって北海道教育の喫緊の課題である基礎学力保障、生活習慣の確立に資するとともに、次期学習指導要領改訂で想定される教育活動の高度化の基盤を構築する。

(2) 事業の実施状況

年2回の会議（北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議）において、協力市町教育委員会及び協力校の取組内容や進捗状況について共有するとともに、北海道における小中一貫教育の在り方や「小中一貫教育推進方針（ポリシー）」「小中一貫教育推進の手引」の内容、本道全体への小中一貫教育の普及の方策等について協議した。

(3) 事業の成果

- ・年2回の会議（北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議）を開催した。
- ・協力市町教育委員会及び協力校の取組内容や進捗状況について共有し、今後の見通しを明確にした。
- ・北海道における小中一貫教育推進の考え方等を協議し、「小中一貫教育推進方針（ポリシー）案」「小中一貫教育推進の手引案」の内容の充実を図った。

(4) 今後の取組予定

- ・小中一貫教育推進方針（ポリシー）、小中一貫教育推進の手引の作成
- ・北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議の開催（年2回）
- ・全道フォーラムの開催
- ・全国学力・学習状況調査結果の詳細な分析及び「ほっかいどうチャレンジテスト」の経年分析による成果・課題の把握
- ・教職員アンケート、児童生徒アンケート、保護者アンケートの実施、変容の把握
- ・大学関係者や先進地域などのアドバイザー、指導主事による継続的な指導・助言
- ・先進地域の視察、全国フォーラム等への積極的な参加による小中一貫教育の先進的な取組事例の収集・分析
- ・報告書、啓発資料等の成果物の作成

4. 取組 I の実績

(1) 取組のねらい

協力市町教育委員会及び協力校において先導的な取組が推進されるよう支援を充実させる。また、道内の各市町村において小中一貫教育の導入が拡充するよう指針を示すとともに、資料等を作成し、普及・啓発を図る。

(2) 取組 I の実施状況（平成28年度）

6月	<ul style="list-style-type: none">・北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議の開催・全国学力・学習状況調査結果問題の分析・児童生徒アンケート（学習方略）の実施・分析
7月	<ul style="list-style-type: none">・指導主事等による継続的な指導・助言
8月	
9月	
10月	<ul style="list-style-type: none">・全国学力・学習状況調査結果の詳細な分析による成果、課題の把握・小中一貫教育全国サミット参加（東京都）
11月	<ul style="list-style-type: none">・学習方略系統表案の作成
12月	<ul style="list-style-type: none">・小中一貫教育推進方針（ポリシー）案、小中一貫教育推進の手引案の作成
1月	<ul style="list-style-type: none">・「ほっかいどうチャレンジテスト」による学力の状況の推移の把握
2月	<ul style="list-style-type: none">・北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議の開催・各管内において、学校関係者等を対象にした「小中一貫教育説明会」の開催・教職員アンケート、児童生徒アンケート（進学）の実施・分析
3月	<ul style="list-style-type: none">・保護者アンケートの実施・分析・今年度の成果と課題のまとめ

(3) 取組の成果

- ・小中一貫教育推進方針（ポリシー）案の作成
- ・小中一貫教育推進の手引（学習方略系統表含む）案の作成
- ・取組の成果を検証するための保護者アンケートの作成

(4) 今後の取組予定

- ・小中一貫教育推進方針（ポリシー）、小中一貫教育推進の手引の作成
- ・北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議の開催（年2回）
- ・全道フォーラムの開催
- ・全国学力・学習状況調査結果の詳細な分析及び「ほっかいどうチャレンジテスト」の経年分析による成果・課題の把握
- ・教職員アンケート、児童生徒アンケート、保護者アンケートの実施、変容の把握
- ・大学関係者や先進地域などのアドバイザー、指導主事による継続的な指導・助言
- ・先進地域の視察、全国フォーラム等への積極的な参加による小中一貫教育の先進的な取組事例の収集・分析
- ・報告書、啓発資料等の成果物の作成

5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	白糠町教育委員会	
Ⅱ-2	中標津町教育委員会	
Ⅱ-3	当別町教育委員会	
Ⅱ-4	旭川市教育委員会	

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ－1
------	-----

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 白糠町教育委員会

住所	: 北海道白糠郡白糠町西1条南1丁目1番地1
----	------------------------

代表者職・氏名	: 白糠町教育委員会教育長 板谷 聖一
---------	---------------------

2. 取組の名称 : 白糠町「小中一貫教育推進事業」

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

本町が目指す「ふるさと教育（学力のびのびプラン）」の充実・発展のため、域内の全ての小学校・中学校において、義務教育9年間を見通した各教科等の教育課程を編成するとともに、新たな教科「ECタイム（仮称）」を創設し、小学校第1学年から「英語」と「中国語」の指導を系統的に行う。また、小学校・中学校の同一地域内の教師が教育課程編成のため研修を重ねる中で、異校種の学習内容、指導方法、学習規律、学習方略、児童生徒の実態等を共有し、教師一人一人の指導力を高め、児童生徒の学力・体力向上を図る小中一貫教育を推進する。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校区における9年間を見通したカリキュラムの作成（～通年） ・各学校区における乗り入れ授業の実施（～通年） ・全国学力・学習状況調査の自己採点及び分析 ・第1回白糠町小中一貫教育カリキュラム編成会議の開催（6/30、白糠町役場、出席者16名） ・児童生徒アンケートの実施（道教委との連携） ・大学関係者（白糠町小中一貫教育アドバイザー）、釧路教育局の指導主事による指導・助言 ・北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席（札幌市、6名）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書購入、協力校への配布（9冊）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回白糠町小中一貫教育カリキュラム編成会議の開催（8/22、白糠町役場、出席者14名） ・大学関係者（白糠町小中一貫教育アドバイザー）、釧路教育局の指導主事による指導・助言
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・白糠町小中一貫教育フォーラムの開催（9/2、社会福祉センター、参加者99名） ・白糠町PTA連合会研究大会・子育てセミナーの開催（9/2、社会福祉センター、参加者120名） ・全国学力・学習状況調査の結果分析並びに課題の精査と対応についての検討

10月	・小中一貫教育全国サミットへ参加(10/20～23、武蔵村山市ほか、1名)
11月	・先進地視察の実施(11/20～23、京都市ほか、7名)
12月	・第3回白糠町小中一貫教育カリキュラム編成会議の開催(8/22、白糠町役場、出席者14名) ・大学関係者(白糠町小中一貫教育アドバイザー)、釧路教育局の指導主事による指導・助言
1月	・先進地視察の実施(1/9～12、高知市ほか、4名)
2月	・標準学力検査(CRT)等の結果分析並びに課題の精査と対応についての検討 ・教職員アンケート、児童生徒アンケート、保護者アンケートの実施(道教委との連携) ・北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席(札幌市、6名) ・第4回白糠町小中一貫教育カリキュラム編成会議の開催(2/22、白糠町役場) ・大学関係者(白糠町小中一貫教育アドバイザー)、釧路教育局の指導主事による指導・助言 ・本年度のまとめと課題整理並びに来年度の取組について
3月	・小中一貫教育推進方針(ポリシー)の作成 ・実績報告書等の作成、提出

(3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査、標準学力検査(CRT)等の結果分析並びに課題と改善方策を明確にすることができた。 ・小中一貫教育推進方針(ポリシー)の作成 ・白糠町小中一貫教育カリキュラム編成会議等を開催し、白糠町小中一貫教育アドバイザーや釧路教育局の指導主事から指導・助言をいただき、9年間を見通したカリキュラムの作成に取り組むことができた。 ・白糠町小中一貫教育フォーラム等を開催し、教職員の「小中一貫教育」に対する理解が深まった。 ・白糠町PTA連合会研究大会・子育てセミナーを開催し、保護者や地域住民に対し「小中一貫教育」への理解と啓発を図ることができた。 ・「白糠地区小中一貫教育校開設準備委員会」「茶路地区小中一貫教育校開設準備委員会」「庶路・西庶路地区義務教育学校開校準備委員会」を開催し、学校・保護者・地域・行政が一体となって「小中一貫教育」実施に向けた取組を推進することができた。 ・各学校区ごとに作成した「小中一貫校ロードマップ」「小中一貫校ステップアップシート」に沿って平成30年4月からの「小中一貫教育」実施に向けた取組を推進することができた。 ・先進地視察の実施等により多くの先行事例を学ぶことができた。 ・学校による自主的な取組が行われた。(5・6年生の中学校登校日、小学校の運動会に中学生がボランティアとして参加、長期休業中の中学校サポート学習に小学校教員が参加、中学校教員による乗り入れ授業、小学3年生と中学1年生の合同授業の実施など)

(4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査、標準学力検査(CRT)等の結果分析並びに課題の精査と対応についての検討 ・9年間を見通した各教科等カリキュラムの作成と試行(必要に応じて見直し) ・先進地視察や全国サミットへの参加、他の教職員への還流 ・小・中学校の教員による異校種乗り入れ授業等の実施 ・「校内研修プログラム」を活用した小中合同研修の実施 ・町指定の研究校による公開授業並びに授業研究
--

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ-2

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 中標津町教育委員会

住所 : 標津郡中標津町丸山2丁目22番地
代表者職・氏名 : 中標津町教育委員会
教育長 小谷 木 透

2. 取組の名称 : 中標津町「小中一貫教育推進事業」

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

義務教育9年間を見通した連続性・系統性のある学習指導等の充実を図るための体制整備や指導方法等について実践研究を通して、本年4月より義務教育学校として開校した計根別学園と併せ、町内全小・中学校への小中一貫教育の導入に向けた取組を推進する。また、地域とともにある学校づくりの観点から、コミュニティ・スクールの導入も含めた研究・協議を行い、保護者・地域住民と「目指すべき子供像」や指導の方針等を共有し、義務教育9年間の学びを支える仕組みを構築する。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

6月	・中標津町教育力向上推進委員会役員会の開催 ・平成28年度第1回北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席（札幌市） ・全国学力・学習状況調査の自己採点及び分析 ・学習方略に関する児童生徒アンケートの実施（道教委との連携）
7月	・計根別学園視察研修会の開催
8月	・平成28年度「市町村教委連携」研修講座の開催 ・中標津町教育力向上推進委員会役員会の開催
9月	・中標津町教育力向上推進委員会合同会議の開催 ・全国学力・学習状況調査の結果分析
10月	
11月	・中標津町教育力向上推進委員会道外視察研修説明会の開催 ・中標津町教育力向上推進委員会道外視察研修（武蔵村山市、三鷹市）の実施
12月	・教職員アンケートの実施（道教委との連携）

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・中標津町小中一貫教育研修会の開催 ・今年度の成果の取りまとめ
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第2回北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席（札幌市） ・中標津町教育力向上推進委員会合同会議の開催
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート、保護者アンケートの実施（道教委との連携） ・事業成果報告書の作成、提出 ・平成29年度事業実施計画の策定

(3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同の研修会の開催により、小中一貫教育の必要性について理解が進むとともに、教職員の意識改革につながり、町全体で推進していくという気運が高まった。 ・武蔵村山市の一貫教育を基盤としたコミュニティ・スクール、三鷹市のコミュニティ・スクールを基盤とした一貫教育を視察研修したことにより、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの関係についての理解が深まり、今後の小中一貫教育推進の参考となった。
--

(4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫の学習方略及び系統図の策定 ・小中一貫教育の普及に資する成果発表会・視察報告会の報告書の作成 ・中標津町学習・生活規律スタンダードの作成 ・中標津町小中一貫教育コミュニティ・スクール基本方針（仮称）の作成
--

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ－3
------	-----

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 当別町教育委員会

住所	北海道石狩郡当別町白樺町 58番地 9
代表者職・氏名	教育長 本 庄 幸 賢

2. 取組の名称 : 当別町小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

小学校第6学年児童の中学校登校や中学校教諭の小学校への乗り入れ指導等、9年間を見通した教育活動を展開するとともに、各教科のカリキュラムモデルのほか、独自教科である当別学のカリキュラムモデルを作成する。また、家庭や地域が連携して学校を効果的に支援するため、コミュニティ・スクールの導入に向けた体制整備を行う。さらに、「小中一貫教育推進講師（町費）」の中学校区への配置や教育懇談会の開催、保護者・住民を対象とした小中一貫教育に関する意識の醸成や小中一貫型小学校・中学校移行に向けた教育講演会の開催、啓発資料の配布、小中一貫教育の質を高めるための教職員への効果的な研修（先進地視察研修等を含む）など幅広く取組を進め、域内全域での小中一貫教育の推進を図る。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席（札幌市） ・小学校第6学年の中学校登校及び小中教職員交流会の実施（西当別地区） ・小中教職員交流会の実施（当別地区） ・一貫教育推進講師（非常勤）の配置（～3月） ・カリキュラム部会の開催（～3月） ・小中一貫教育を補完する放課後や土曜日の教育活動の実施（～3月） ・全国学力・学習状況調査の自己採点及び分析 ・児童生徒アンケートの実施（道教委との連携）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修の実施 ・ほっかいどうチャレンジテスト（学期末問題）実施及び結果分析
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中教職員研修（西当別地区）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校第6学年の中学校登校（西当別地区） ・全国学力・学習状況調査の結果分析
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察研修（小中一貫教育全国サミットin武蔵村山）の実施（町内教職員） ・「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム（北海道会場）への参加（道教委）

11月	・小中一貫教育保護者説明会の実施（当別地区、西当別地区）
12月	・小学校第6学年の中学校登校（当別地区） ・教職員研修の実施 ・ほっかいどうチャレンジテスト（学期末問題）実施及び結果分析
1月	・小学校第6学年の中学校登校（当別地区） ・教職員アンケート、児童生徒アンケートの実施（道教委との連携）
2月	・中学校教諭による出前授業（当別地区・西当別地区） ・北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席（札幌市） ・小中一貫教育懇談会の開催 ・コミュニティ・スクール説明会の開催（各学校評議員会議） ・保護者アンケートの実施（道教委との連携）
3月	・ほっかいどうチャレンジテスト（学年末問題）実施及び結果分析 ・今年度の成果と課題のまとめ ・実績報告書等の作成、提出

（3）取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・町費で「一貫教育推進講師（非常勤）」を配置し、小学校、中学校での学習指導の実施及び「一貫教育便り」の発行したことにより、教職員の「小・中9年間を見通した指導」に対する意識が高まり、授業改善につながった。 ・保護者や地域住民向けに「コミュニティ・スクール」に関する教育講演会を実施したことにより、学校を支える地域の在り方について理解を深めることができた。また、「機会があれば学校でボランティアとして活動したい」と考える地域住民が増加した。 ・武蔵村山市で開催された「小中一貫教育全国サミットin武蔵村山」に教職員が参加し、小中一貫教育の下で行われる先進的な取組を視察したことにより、実施上の留意点等について理解を深めることができた。また、参加者が視察の報告をしたことにより、町内の教職員に成果を還元することができた。 ・コミュニティ・スクールを基盤にした小中一貫教育に関する教職員研修を実施したことにより、地域との連携による小中一貫教育について理解を深めることができた。 ・授業改善に関する教職員研修を実施し、小中の教員が合同で話し合うことにより、9年間を見通した指導方法の改善の必要性について理解を深めることができた。 ・教育委員会の職員及び各学校の教頭、教務担当等によるカリキュラム部会を毎月実施したことにより、独自教科「当別みらい学」のカリキュラムモデルを作成することができた。 ・保護者向け啓発資料である「小中一貫教育リーフレット」を作成して保護者や地域住民に配付したことにより、平成29年度から当別町が進める小中一貫教育に関する理解を深めることができた。
--

（4）今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> ・域内全域での小中一貫教育の計画的導入に資する小中一貫教育懇談会の開催 ・独自教科である「当別みらい学」改善に向けた取組の推進 ・一貫教育推進講師（非常勤）による小・中学校の連携強化 ・小中一貫教育の質の向上のための効果的な教職員研修の実施 ・小・中学校の教育課程、指導計画等に基づく学習活動の実践及び改善 ・小中一貫教育を補完する土曜日や放課後の教育活動の充実を図る体制の構築と実践 ・小中一貫教育の理解度や期待、課題把握のための保護者・地域住民アンケートの実施 ・小中一貫教育の普及に資する教育講演会等の開催 ・小中一貫教育に関する啓発資料の作成・配付 ・小中一貫教育を補完するコミュニティ・スクールの導入
--

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ-4

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 旭川市教育委員会

住所 : 旭川市6条通8丁目
セントラル旭川ビル

代表者職・氏名 : 教育長 赤岡 昌弘

2. 取組の名称 : 「小中連携・一貫教育の基本的な考え方」を基にした小中連携の促進や将来的な小中連携・一貫教育の実現に向けた取組

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

小中連携教育モデル校（平成26年度～神居小学校・神居中学校、平成27年度～旭川小学校・旭川中学校）の取組や中学校区での教育活動シートの作成などを通して、中学校の通学区域を単位とした小中連携・一貫教育を促進する。
また、平成28年度のモデル校である旭川小学校・旭川中学校に、小中連携コーディネーターを配置し、平成30年度の施設一体型小中一貫教育の実施に向け、9年間を見通した系統性・連続性のある具体的な取組を進める。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

6月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none">・小中連携コーディネーター（非常勤嘱託）の配置・小中連携・一貫教育検討懇談会の開催・平成28年度北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席（札幌市）・中学校の生活についての児童生徒アンケート調査の実施（小学校5、6年生及び中学校1年生、合計7,544名対象）・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 <p>【教育委員会ワーキンググループ】</p> <ul style="list-style-type: none">・旭川小・中学校のレイアウトについての協議 <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年度北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席（札幌市）・コーディネーター打合せ及び小中合同研修の実施・中学校の生活についての児童生徒アンケート調査の実施（小学校5、6年生及び中学校1年生）・小・中学校合同での漢字検定の実施・全国学力・学習状況調査の自己採点及び分析
----	--

7月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携・一貫教育検討懇談会の開催 ・議題「小中一貫教育推進プランの骨子（案）」 など ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 <p>【教育委員会ワーキンググループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川市小中連携・一貫教育推進研修会や児童生徒へのアンケートについての協議 <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター打合せ、小中合同研修の実施 ・旭川市小中連携・一貫教育推進研修会の取組発表の準備・打合せ ・乗り入れ授業の実施 など
8月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川市小中連携・一貫教育推進研修会の開催 ・シンポジウムの開催 ・小中連携・一貫教育検討懇談会の開催 ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 <p>【教育委員会ワーキンググループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度旭川市小中連携・一貫教育推進研修会や児童生徒へのアンケートについての協議 <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター打合せ及び小中合同研修の実施 ・旭川市小中連携・一貫教育推進研修会参加 ・小・中学校合同での漢字検定の実施
9月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川市小中連携・一貫教育推進研修会の開催 ・シンポジウム報告書の作成 ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター打合せ及び小中合同研修の実施 ・教育実践発表会に向けての打合せ ・旭川中学校祭への小学校教諭の協力 など ・全国学力・学習状況調査の結果分析
10月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全中学校区における「平成28年度 9年間つなげてみよう教育活動シート」の取組スタート ・旭川市小中連携・一貫教育推進研修会の開催 ・シンポジウム報告書の各学校への発信 ・第11回小中一貫教育全国サミットin武蔵村山への参加及び市川市立塩浜学園の調査研究 <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 ・コーディネーター打合せ及び小中合同研修の実施 ・第11回小中一貫教育全国サミットin武蔵村山への参加及び市川市立塩浜学園の調査研究 ・小・中学校合同ボランティア活動 ・中学校2年生の職場体験学習への協力（旭川小学校）
11月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 ・沼田町一貫・連携教育研究大会への参加 ・初山別村小中連携、一貫教育研究大会への参加 <p>【教育委員会ワーキンググループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度小中連携・一貫教育の推進に関するワーキンググループ報告書に基づいた取組内容の確認や先進地調査の結果について <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同の教育実践発表会の実施 ・乗り入れ授業の実施 など

12月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター打合せ及び小中合同研修の実施 ・地域公開参観日の実施 ・全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析及び学力向上改善プランの検討・交流 ・乗り入れ授業の実施 など
1月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会協議会における推進プランの協議 ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター打合せ及び小中合同研修の実施 ・小・中学校合同での漢字検定の実施 ・部活動交流 など
2月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携・一貫教育検討懇談会の開催 ・平成28年度第2回北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議への参加 ・平成29年度教育行政方針の発表及び市内全小・中学校長への周知 ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 <p>【教育委員会ワーキンググループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組のまとめ <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第2回北海道「小中一貫教育推進事業」運営会議へ出席（札幌市） ・コーディネーター打合せ及び小中合同研修の実施 ・授業交流（参観日） ・小中連携教育モデル校事業の成果報告書作成、提出 ・教職員アンケート、児童生徒アンケート、保護者アンケートの実施（道教委との連携）
3月	<p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区の取組状況の取りまとめ及び検証 ・小中連携教育モデル校事業におけるモデル校（神居中学校区、旭川小学校・旭川中学校）の成果報告書の各校への配付 ・教育委員会協議会の開催（推進プラン素案の協議） ・小中連携コーディネーターによる学校訪問の実施 <p>【モデル校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川中学校区小中連携協議会の開催

(3) 取組の成果

- ・小中連携教育モデル校（平成26年度～神居小学校・神居中学校、平成27年度～旭川小学校・旭川中学校）の取組や旭川市小中連携・一貫教育推進研修会の開催、中学校区での「9年間をつなげてみよう教育活動シート」の作成などを通して、中学校の通学区域を単位とした小中連携を促進した。
- ・平成28年度のモデル校である旭川小学校・旭川中学校に小中連携コーディネーターを配置し、平成30年度の施設一体型の学校の開校に向け、小・中学校合同の校内研修において、キャリア教育に関わる9年間を見通した教育課程の編成や小・中学校合同の教育実践発表会など、具体的な取組を進めた。
- ・市内の小学校5・6年生及び中学校1年生約7,900名を対象にアンケート調査を実施した。全体の傾向としては、肯定的な回答の割合が高く、中学校に対する期待感などプラスのイメージをもっていることが分かった。
- ・教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携を行っている中学校の割合が増加した。（全国学力・学習状況調査学校質問紙調査）
中学校 H27 80.0%→H28 80.7%

(4) 今後の取組予定

- 小中連携・一貫教育導入期の全中学校区における9年間を見通した系統的な教育活動の推進
 - ・「小中連携・一貫教育推進プラン」策定（6月予定）
 - ・旭川市小中連携・一貫教育推進研修会の開催
 - ・「小中連携・一貫教育推進プラン」に基づいた取組の進捗状況の報告